

公開講演:「演劇における色・音・香」井上ひさし作『父と暮せば』を題材に

日時: 2024年10月28日(月) 10:40~12:10

会場: お茶の水女子大学 本館 306教室 **聴講無料 (要事前申し込み)**



講師プロフィール

高宮千尋 (たかみやちひろ)

福岡県出身。

お茶の水女子大学文教育学部芸術表現・行動学科舞踊教育学コース卒。劇団俳優座演劇研究所を経て、劇団俳優座に所属。芝居のみならず、朗読や子供向けパフォーマンスにも出演。声優としても活動する。

2022年、眞鍋卓嗣演出の『猫、獅子になる』に出演。同作品は第30回読売演劇大賞優秀作品賞他2部門を受賞。

〈出演作〉

- 2024年「被爆樹巡礼」「犬やねこが消えた」(構成・演出:菅田華絵)
- 2023年「検察側の証人」(演出:高橋正徳)
- 2023年「ラフタリーの丘で」(演出:高岸未朝/翻訳・ドラマトウルク:坂内太)
- 2022年「猫、獅子になる」(作:横山拓也/演出:眞鍋卓嗣)
- 2022年「美しきものの伝説」(演出:鶴山仁)
- 2022年『父と暮せば』(演出:増澤ノゾム) 福吉美津江役 他。

本講演は、「舞踊における色・音・香」の授業の一環として行います。通常の教室ですが、可能な範囲で実演も行っています。

問い合わせ先:お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース 准教授:中村美奈子

nakamura.minako@ocha.ac.jp

参加希望の方は事前にメールにて中村までご連絡ください。

過去の出演作

2022年『父と暮せば』

作:井上ひさし/演出:増澤ノゾム

出演:剣持直明、増澤ノゾム、高宮千尋

【2025年1月29日~2月2日 下北沢・小劇場楽園にて上演決定!】



2020年

ダンス×朗読の映像作品『ハリネズミノヒトリゴト』

ダンス:清水美紗都(2016年お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒)

朗読:高宮千尋

